

Seize the fortune by the forelock.

～幸運の神には、前髪しかない～

校長 桑野 啓子

10月に文科省（文化庁）から研修生さんが箕面市に来られて、市内の数校を訪問されました。彩都の丘学園にも2日間来られて、1～9年生の子どもたちが生き生きと学ぶ様子をご覧になり、小中一貫校ならではの！の多くを知り、学ぶことができたとおっしゃっていました。最後に6年生あてに、キャリア教育のゲストティーチャーをしてくださいました。ご自身の小中学生時代に海外から日本をごらんになった経験等から、「なにか社会のためになるような仕事に就きたい」と思われたそうです。そして「何事もやってみよう！の気持ちが大切です。」とエールをおくってくださいました。また「幸運の神の髪型は？」というクイズをご用意くださいました。わたしは以前にこの言葉に出会い、励まされ、いつも胸の中に抱えている言葉でしたので、あとから研修生さんと語り合ったことは言うまでもありません。

「幸運の神には、前髪しかない」つまり、（前方から）チャンスが巡ってきたときに、そのチャンスに勇気をもって取組もう。そんな *Let's try!* を大切にしよう。」ということです。もちろんチャンスをうまく生かせないときもありますが、そんな振り返りをした後は「次こそやってみよう」と再トライをすればよいのだと考えます。

さて、トライと言え、10月15日に実施しました第12回運動会では、学園の目標「学ぶ、鍛える、つながる」が大いに感じられる取組みとなったことを喜んでいます。子どもたちには教室の「開会式」「閉会式」で伝えましたが、練習や直前のリハーサル、そして本番で、大いに横のつながり、縦のつながりを意識することができました。大グラウンドに一同に会することはできませんが、一人ひとりの異なる精一杯を応援することや学年みんなで気持ちを合わせることができたことはかけがえのないトライアルでした。教室内のモニターではありますが、異学年の取組みから輝きを発見して、メッセージカードを贈りあい交流するという工夫の中で、一貫校としてのつながりを育むという彩都ならではの運動会でした。運動会では、今年も、観覧形式について、保護者のみなさんのご理解とご協力をいただきました。また地区防犯委員さんに安全のためのご支援をいただきました。保護者、地域のみなさん、いつもありがとうございます。

11月1日には、8年生が「彩都の丘学園、彩都地区のすてきなところ、改善したいところ」についてパワーポイントにまとめて、来校される市長さんと意見交換会を行います。（市内の全中学校2年生が取組んでいます）チャンスが巡ってきたときに、勇気をもって取組む、*Let's try* の気持ちを今後とも大切に、大規模校だからとできないことを嘆くばかりではなく、知恵と工夫でできることを見いだして、みんなで進んで参ります。下半期も学園へのお力添えをどうぞよろしく願いいたします。